

令和7年度 巨大地震発生時の学校対応について

◎ 真庭市内で震度5弱以上の地震が観測された場合、

勝山中学校区内の小中学校は、以下の基準に基づいて対応します。

勝山中学校区小中学校

● 地震発生時の時間帯と対応について

時間帯	学校の対応	保護者・児童の対応
登校前	○ 基本的には臨時休校とする。 被害の状況など情報を収集し、登校が可能かどうかを判断し、告知放送やコドモンにより保護者に連絡する。	○ 児童は、自宅待機。 ○ 保護者 学校からの連絡を確認する。 登校できない場合は、学校へ連絡する。
登校中	○ 登校した児童の安全確認・安全確保。 ○ 臨時休校の連絡をする。 ○ 児童を引き渡す。 ○ 全児童の安否及び所在の確認をする。	○ 児童 安全な場所に一時避難してから、学校か自宅か近い方に行く。 ○ 保護者
下校中	○ 学校に戻った児童の安全確認及び安全確保。 ○ 児童を引き渡す。 ○ 全児童の安否及び所在の確認をする。	・ 児童が自宅に戻った場合、可能ならば、学校へ連絡する。 ・ 児童が学校へ行った場合、学校へ引き取りに行く。
学校に滞在中	○ 全ての教育活動を中止し、児童を安全な場所に避難誘導する。 ○ 安全確認後、保護者に以下の連絡を行う。 ①児童の安否情報(第一次) ②児童の引き渡しの依頼(第二次) ※ 保護者が引き取りに来るまでは、児童を学校で保護する。 ○ 校外で学習の際は、安全確認後、帰校する。帰校が困難な場合は、安全な場所で待機する。	○ 保護者 学校より連絡が届かない場合も想定されるが、震度5弱以上の地震発生の場合、基本的には児童を引き取りに行く。 但し、道路事情、家庭の事情等を考慮した上、決して慌てることなく安全な対応をこころがける。
休夜日間等や	○ 校舎の破損状況、地域の状況、職員の状況、通信手段の状況を確認後、状況に応じて「今後の対応」を保護者に連絡する。	○ 保護者 学校再開の連絡があるまで、児童を自宅待機とする。

以上は、あくまでも基本的なガイドラインであり、状況により対応が異なることもあります。

<お願い！>

登下校中、児童は、自宅に行くのか、学校へ行くのか、その判断を各家庭で、よく話し合っておいてください。

<通信手段寸断の場合>

学校への連絡が出来ない場合、学校からの連絡が来ない場合にご活用ください。

〇〇〇学校メールアドレス:

〇〇〇学校電話: